

特別講演 1

「実臨床からみたアルツハイマー型認知症の薬物療法

～抗認知症薬・向精神薬をどう使いこなすか？～」

愛知県認知症疾患医療センター長

川畑 信也 先生

本講演では、6,000名以上の患者さんを診療してきた物忘れ外来の経験から実臨床に役立つアルツハイマー型認知症の診断と治療の実際について解説する予定です。かかりつけ医・非専門医の先生がたも認知症診療に参加すべきと言われて久しいのですが、先生がたにとって認知症診療に踏み込むことに躊躇されることが少なくないと思われるかもしれません。なぜでしょうか？答えは明白です。実臨床に役立つ認知症診療のスキルを習得する機会が少ないからだと思います。たとえば、認知症の診断条件として生活に支障がみられることが挙げられていますが、その生活障害の判断があやふやなために認知症を判断することに迷っていませんか？アルツハイマー型認知症と診断したら抗認知症薬を開始するのが原則と言われますが、各薬剤の具体的な処方手順や副作用が生じた時の対処のしかたで悩んでいませんか？周辺症状への薬物療法がわからないことから認知症患者さんの診療に困っていませんか？本講演では、先生がたが実際に認知症患者さんを診察する際の診断と治療のコツについて演者の経験に即した講演を行う予定です。先生方が日常診療で困っていることのひとつでも解決できれば、と考えて講演を行う予定です。